

お話

東京都教育庁指導部義務教育指導課

吉田 元先生

東京都昭島市立光華小学校

安藤 浩太先生

## 国語科の特徴

国語科は「言葉による見方・考え方」を働かせながら、様々な言語活動を通して、言葉を正確に理解し適切に表現できる資質・能力を育む教科です。

幼児期では、遊びや生活の中で経験したことや考えたことを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養っていきます。気持ちや行動をコントロールしたり、他者とやり取りしたり、絵本や物語を楽しんだりするなど、言葉を介して身近な人と関わりながら多くのことを学んでいます。そしてそれは、資質・能力の育成に大きく寄与しています。

また、幼児期では自分なりの言葉で話すこと、友達や保育者の話を聞くこと、いわゆる「話すこと・聞くこと」といった音声言語が中心であり、小学校では、そこに「書くこと」「読むこと」といった文字言語での学びが加わります。このような用いる言語の特徴を自覚し、幼児期に育まれた言葉に対する感覚や言葉で表現する力を生かしながら、円滑に接続できるようにすることが求められます。そのために、絵本や紙芝居などの児童文化財を教材や学習活動に取り入れたり、幼児期の学びを生かし、環境の構成を工夫したりするとよいでしょう。

そういった言葉の育ちは、国語科だけでなく、小学校でのあらゆる学習の基礎になっていくと言えます。

## 幼児期の遊びを通した学び

遊びや生活の中での様々な感動体験を言葉で伝えたり、聞いたりしながら、話すこと、聞くことの楽しさを味わいます。そうして保育者や友達と心を通わす中で、絵本や物語に親しみながら豊かな言葉や表現を身に付けていきます。また、遊びや生活の中で、文字に親しみ、興味や関心をもつようになります。

具体的には…

- 自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友達の考えを聞いて取り入れたりしながら遊びを進める面白さを味わう
- 園庭で知らない虫を見つけた驚きや嬉しさを友達に伝えたり、絵本や図鑑で虫について調べることを楽しんだりする
- 読み聞かせで読んでもらった絵本を気に入り、繰り返し絵本を見たり読んだりしながら、文字への興味や関心を深める

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 国語科 話すこと・聞くこと

とのつながり



## 遊びを通した学び

リズムに乗って…  
「こうやって手を伸ばすとい  
いかな?」「うん、かっこい  
い!」と自分の考えを伝え  
たり、相手の考えを分  
かったりしながら、踊り  
を楽しんでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

いつでも友達と一緒に踊ることを楽しめるように、身に付け  
るものや音楽をかける機器などを環境として用意しています。  
幼児が互いに思いを出し合いながら遊びを進めているかを大  
切にしています。



## 遊びを通した学び

帰りの会での振り返り…  
「今日はね、□□ちゃんと  
一緒に鬼ごっこしてね…」  
と学級の友達や保育者に  
楽しかったことを自分な  
りの言葉で伝えることを  
楽しんでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

帰りの会など学級で集まる場面で、幼児が安心して楽しかった  
ことを伝えられるように、集まり方を工夫したり、必要に応じ  
て言葉を補ったりします。聞いてもらう喜びや伝わる嬉しさを  
感じられるように、保育者も幼児と共に話を聞きます。



## 遊びを通した学び

虫探し…  
「あ、蝶々見付けた!アゲハチョウか  
な?」虫を発見したワクワク感。思わ  
ず友達に話したことに共感しても  
らって喜んでいる。



## 遊びを通した学び

当番交代…  
「明日のモルモット当番は、  
○○グループです」「今日  
のお休みは、△△君で  
す」当番交代やお休み調  
べの中で、相手に伝わ  
るように当番や生活グ  
ループ名、友達の名前  
を学級に伝えている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

当番活動名や、交代する友達やグループ名を学級全体に  
伝えられるよう、時間を設けています。話す側も聞く側  
も分かりやすいよう、当番表を掲示しています。



## 遊びを通した学び

ごっこ遊びの場面…  
「プリンセスになって踊りましょ!」  
と、ごっこ遊びの中で、自分の  
やりたいことを友達に話して、  
なりきって表現している。



## 遊びを通した学び

製作…  
「どうやってつくるか教えて?」「い  
いよ!こうやってね…」と友達に聞  
いたり、動作と言葉で伝えたり  
している。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見とれますが、ここではあえて「話すこと・聞くこと」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ
- 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないよう集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ
- 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ

## 幼児期の遊びを通した学び

思いの実現に向けて、考えを伝えたり相手の話を聞いたりしている。  
振り返りで、相手に伝わる言い方を考えながら話そうとしている。

|             |   |
|-------------|---|
| <b>目標</b>   | <p><b>(知識及び技能)</b> 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉にはまとまりがあることに気付くことができる。</p> <p><b>(思考力、判断力、表現力等)</b> お互いの話に関心をもって話したり聞いたりすることができる。</p> <p><b>(学びに向かう力、人間性等)</b> 進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験を生かして話したり応答したりすることができる。</p>  |
| <b>学習計画</b> | <p><b>①(他教科との関連)</b><br/>学校探検をして学校の様々な「人・もの・こと」と関わりを深める。</p> <p><b>①②</b><br/>学校探検で出会った「人・もの・こと」から紹介したいものを決める。その後、話の構成を確認したり、伝え方を考えたりするなど、『宝物お話会』の準備をしたり練習したりする。</p> <p><b>③(本時)④</b><br/>準備したり練習してきたことを生かして、『宝物お話会』を開いたり、学習を振り返ったりする。(その後、「書くこと」との関連も考えられる。)</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※丸囲み数字は授業時数</p> |

## 【授業展開例】

### 見通す

前の学習を振り返り、取り組むことへの見通しをもつ。



★学校探検で見付けた人や場所や出来事などの宝物についてお話しするために、これまでに準備を進めてきましたね。(生活科で個人が好きな場所を探索できる形式の探検を行った後、保健室や給食室など行きたい場所ごとにグループとなり探索できる形式の探検を複数回行った想定。)

- そうそう。みんな探検した場所はバラバラだったから、自分で探検していない場所とか会ったことのない人とかも知りたいってなったんだよね。
- 宝物を紹介するために、前の時間には絵とか写真とかを準備したよね。
- そういえば、どんな順で何を話すといいかもみんな話したね。
- 理由作戦とか、クイズ作戦とか使うといいよってなった。
- もう準備もバッチリだから、みんなに早くお話ししたいな。

★では、今日はみんなで学校探検で見付けた人や場所、出来事などの宝物をお話する『宝物お話会』を開きましょう。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の連続的な学び方を生かして、生活科の学校探検といった身近なことを話題として、話すことができるように単元を構成する。そうすることで、児童にとって想起しやすく学ぶ必然性を感じやすい学習となっていく。

みんなのお話を聞いてみたい!



探検していない場所のこと知りたいな!



## 『宝物お話会』を開こう!

### 深める

宝物をお話会を開き、自分の見付けた宝物をお話したり、友達のお話を聞いたりする。



★グループごとにお話会を開きましょう。一人のお話が終わったら感想を伝えたり、質問をしましょう。(お話会は、異なる場所を探検した子供同士3~4人のグループで1回目をを行い、おじゃましますタイムでメンバーを変更しながら3回程繰り返す。)

- わたしの見付けた宝物は、この絵のにかいた保健室の〇〇先生です。保健室を探検したときに「怪我や病気になったら助けてあげるね」って言ってくれて、大好きになったからです。それに学校の中なのに、お医者さんみたいな先生がいてすごいなって思いました。これでわたしのお話を終わります。
- すごい! 誰でも助けてくれるってこと? 私も今度会いにいきたいな。
- 質問なんだけれど、保健室で怪我とか治してくれるんですか。
- そうですね。保健室には、絆創膏とか消毒液とか怪我を治してくれるお助けグッズがたくさんありました。 ●へえ、そうなんだ!
- ぼくもそのお助けグッズのことを教えてもらったよ。〇〇先生、優しかったよね。

★グループ全員のお話が終わりましたね。それでは、おじゃましますタイムです。グループの中で1人だけ残って、後の人は違うグループの机に動きまわります。そうして新しいお友達と2回目のお話会を開きましょう。

- ぼくの見付けた宝物は、この写真の美味しそうなおやつを作る場所です。どこだか分かりますか。
- この写真は給食かな? ●ということは給食室のお話ですか。
- 正解は、給食室で作っている給食です。学校にレストランみたいな場所があって、とても驚きました。
- 確かに、幼稚園にはなかったもんね。 ●給食室のことで、ほかに驚いたことはありましたか?
- お鍋とか混ぜる道具とかととっても大きくて驚きました。 ●そんなに、大きいんだね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学び方を生かし、グループごとに身を寄せ合い、円形になるなど、互いの意見が交流できたり表情が見えたりするような学習の環境を設定する。そうすることで、安心して互いの思いや考えが出し合えるようになる。

質問するとお話が繋がっていくね!



友達の話聞いて新しいことが分かった!



### 振り返る

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

★今日はみなさんが楽しみにしてたお話会でした。どうでしたか。

- みんなこっちを向いて聞いてくれて、質問したり驚いてくれたりして嬉しかった。
- ★そうですね。友達に伝わると嬉しいですね。それに相手を見て質問したり、感想を伝えたりして、お話が繋がっていくと、話す人も聞く人もどっちもとても楽しくなりますね。
- 友達のお話を聞いて、学校のことが分かったし、もっともっとお話ししたくなった。
- ぼくは、音楽室の大きなピアノのお話をしたけれど、〇〇君はそのピアノを弾いてくれた音楽室の先生のお話をしてくれた。同じ音楽室のことで、お話が繋がって行って、そのお部屋のことがよく分かったし、お話ししていても聞いていても楽しかった。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気付きを認め、受け止めながら、話し合いが活性化するための言葉や態度等もクラス全体で共有していくことで、言葉による見方・考え方を養っていく。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 国語科 書くこと

とのつながり



## 遊びを通した学び

遠足の体験をかいて…  
「動物園楽しかったなあ、象  
が大きかった」と印象に  
残った動物や周りの様子  
をかく中で、動物の名前  
や表示などを文字で書こ  
うとする。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

印象に残ったことを友達や先生と振り返りながら、パスや絵筆などのいろいろな描画材を使って、かくことを楽しめるようにしています。幼児が絵に表そうとしていることを、言葉に置き換えて伝えます。



## 遊びを通した学び

お店屋さんごっこで…  
「お店の看板をつくろうよ」  
「レストランの『し』ってどう  
やって書くの？」絵とともに  
文字を書いて看板やメ  
ニューを作成する。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

やりたい店をイメージして、必要なものを再現しながら実現に向かえるように、幼児の前で文字を書いてみせたり、伝えたりしています。また、画用紙やペン等はいつでも使えるように整理して置いておき、つくりたいものに合わせて選んで使えるようにしています。



## 遊びを通した学び

「同じ字があるね！」友達の名札を  
見て自分の名前と同じ文字があ  
ることに気付き、名札の文字を  
真似て書こうとする。



## 遊びを通した学び

小学校ごっこの中で…  
「国語のお勉強、『あいう  
えお』って書いてみよう！」ノートに見立てた  
紙に自分や友達の名前  
を書いたり、知っている  
文字や数字を書こう  
としたりする。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

小学校との交流活動後、小学校ごっこが始まることを見通して、ランドセルや筆箱、ノートをつくれるような素材を用意したり、必要なものを幼児と一緒に考えてつくったりして、小学校に期待がもてるようにしています。



## 遊びを通した学び

宝の地図で探検だ！  
「あっちに、宝箱があるよ！」宝の  
地図をかいて探検ごっこ。発見  
した宝を地図にかきながら、文  
字や記号に出会う。



## 遊びを通した学び

私のスマートフォン！  
「スマホつくってるの！」スマート  
フォンを画用紙や空き箱でつく  
る中で、文字や数字アプリの絵  
をかくことを楽しむ。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 数量や図形、標識、文字への関心・感覚
- 思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「社会生活との関わり」「言葉による伝え合い」などの姿も見とれますが、ここではあえて「書くこと」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く
- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える
- 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する

## 幼児期の遊びを通した学び

小学校ごっこを楽しむ中で知っている文字などを書いている。  
お店屋さんごっこに必要な看板やメニューを絵と文字でかいている。

|      |  |
|------|--|
| 目標   | (知識及び技能) 身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。   |
|      | (思考力、判断力、表現力等) 自分の思いや考えなど表現したいことが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。                                    |
| 学習計画 | (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  |
|      | ①(他教科との関連) 図画工作科で複数の材料を使ってオリジナルキャラクターをつくって遊ぶ。  |
|      | ①②③(本時)④ 作成した制作物を主人公にしたお話を書くといった学習の見通しをもつ。物語を書くために、「既習知識や経験を生かして出来事を考え、「はじめ・中・終わり」のまとまりごとにお話の内容を膨らませる。 |
|      | ⑤⑥⑦⑧⑨ 出来事の様子が詳しくなるようにお話を書いたり、書いたお話を読み直し、間違いないか確かめたりする。   |
|      | ⑩⑪ ※丸囲み数字は授業時数<br>書いたお話を友達と読み合って感想を伝え合ったり、学習を振り返ったりする。   |

## 【授業展開例】

### 見通す

前時を振り返り、取り組むことへの見通しをもつ。



★作家のみなさん、図画工作の時間に自分で考えてつくったオリジナルキャラクターが主人公になるお話づくりは順調に進んでいますか？

- うん、この前は「はじめ」でどんなことが起こるか考えたから、今日は「中」でどんなことが起こるか考えたいな。
- 友達とキャラクターを動かしながらお話を考えたのだけれど、途中で終わったから、その続きからやりたいな。

### POINT

**幼児期の学びを踏まえた指導の工夫**  
幼児期の連続的な学び方を生かして、図画工作で制作したものを様々な場で自由に動かしながら物語を考えることができるようにする。



### お話の中でどんな出来事が起こるか考えよう。



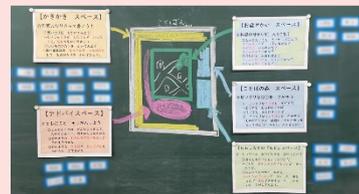
★今日、自分が取り組むことを決めましょう。決めたら、黒板に自分のネームプレートを貼って活動を始めましょう。

- ぼくは、この前キャラクターを動かしてお話ができってきたから、まずはどんなことが起こったか、書いてみようかな。
- 「中」で、友達と遊んでいて仲直りできるようにしたんだ。今日は、「終わり」の出来事を考えてみようかな。似たようなお話がないか、調査スペースで絵本を探してみようかな。
- 「はじめ」で森に行くってことは決まったけれど、次はどうしようかな。友達に相談してみよう。

友達と話すとよいアイデアが思い付くよ！



★活動(お話世界)スペース、相談(アドバイス)スペース、執筆(かきかき)スペース、調査(言葉の森、面白さの素)スペースなど分けて、取り組むことができるようにする。



### 深める

制作物を動かしたり、友達に相談したりして想像を広げ、まとまりごとにお話の出来事を書く。



★(活動スペースでキャラクターを動かしている子に)どんなお話ができそうですか。

- 私のキャラクターは海に来ていて、泳げるようになりたいなって練習しているの。
- そうそう。私は「がんばって」って応援している役をやってるの。
- でね、応援してくれて泳げるようになって二人は仲よくなるの！

★二人で話し合って、すてきなお話ができそうですね。二人も、似たようなことがあったのかな。

- うん、鉄棒で似たようなことがあったの。そのときも友達が応援してくれたんだ。とっても嬉しかったの。

★あなたと同じように、キャラクターもとっても喜んでいるのかもしれないね。

- そっか。じゃあ、そのことも出来事のカードに書いてみようかな。



### POINT

**幼児期の学びを踏まえた指導の工夫**  
子供の学びの特徴として、情報の収集や内容の検討、構成の検討が行きつ戻りつすることが考えられる。そこで、幼児期の学び方を生かし、学習内容や学習進度を自己選択・自己決定できるようにする。その際、友達と自由に相談できたり、具体的に操作できたりするコーナーを設置する。

### 振り返る

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。



★今日はどこまで進みましたか。最後に困りごとがあったらみんなで確認しましょう。そして、次やることを考えましょう。

- 動かしていくと出来事がたくさん生まれちゃって、頭がゴチャゴチャになっちゃいました。
- そうしたら次は出来事を書いたカードを順番に並べてからキャラクターを動かして確認したらいいんじゃない。
- 私も「終わり」までカードに書けたから、順番通りキャラクターを動かしてみても、出来事を付け足して、もっと面白くしてみたいです。

困りごとを相談したいな



# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 国語科 読むこと

# とのつながり

※幼児期の遊びを通した学びのページは、一つにまとめております。



**遊びを通した学び**  
読み聞かせの場面で…  
「先生、もう一回読んで！」  
絵本や紙芝居の読み聞かせの経験から、言葉の響きやリズムの面白さを感じ、自ら言葉に出して読むことを楽しんでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の実態や興味・関心に応じた絵本を読み聞かせたり、絵本コーナーに用意したりして絵本に触れることを楽しめるようにしています。



### 遊びを通した学び

登園時の様子…  
登園後、保育室の表示を見たり読んだりして、「今日は、みんなでドッジボールだ。やったあ！」と学級での活動を楽しんでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一日の予定を確認したり見通しをもったりできるよう、一日の予定を絵表示と文字で掲示しています。絵の横に文字で示すことで、文字の役割に気付いていきます。



### 遊びを通した学び

タブレットを見ながら…  
「先生、ここになんて書いてある？」  
知りたい気持ちから、読めない文字を先生に尋ねている。



**遊びを通した学び**  
ダンゴムシを飼い始めて…  
「ダンゴムシは何を食べるのかな？」と興味をもって図鑑を見たり、知っている文字を声に出して読んだりしている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

知りたい気持ちに寄り添い、図鑑と一緒に調べたり、書かれていることを読んだりします。幼児のすぐ隣で保育者が声に出して文字を読むことで文字と音声合い、文字への興味・関心が広がっていきます。



### 遊びを通した学び

何を書いているのかな…  
「なんて書いているの？」一緒に遊んでいる友達の書いている文字に興味をもち、読んだり聞いたりしている。



### 遊びを通した学び

手紙のやり取りで…  
「先生、お手紙あげる！」と先生に渡した手紙を読んでもらったり、自分で読んだりしながら、手紙に込めた思いを伝えている。



## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 数量や図形、標識、文字への関心・感覚
- 言葉による伝え合い

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「豊かな感性と表現」などの姿も見えて来ますが、ここではあえて「読むこと」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。



## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える
- 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える



## 幼児期の遊びを通した学び

ダンゴムシに興味をもち、虫の図鑑を見たり読んだりしている。  
一日の予定表を見て順序だてて書かれた文字を読み、予定を確認している。

| 目標   | <p>(知識及び技能) 文の中の主語と述語の関係に気付くことができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。</p>   |
|------|---|
| 学習計画 | <p>①(本時) 教師の範読を聞いて内容の大体を捉え、学習計画を考える。</p> <p>②③④⑤⑥ 本文のそれぞれの内容について、「問いと答え」を中心に捉え、クイズにまとめる。</p> <p>⑦⑧⑨ 「問いと答え」の文章の形式を生かして、他の本で調べたり他教科・領域での学習を生かしたりして〇〇クイズをつくる。</p> <p>⑩ ※丸囲み数字は授業時数<br/>完成したクイズをお互い出し合った後、学習を振り返る。</p> |

## 【授業展開例】

### 見通す

本時で取り組むことへの見通しをもつ。

- この前まで、お話を読んで劇遊びをしたよね。
- そうそう。次の教科書に載っているのはどんな物語かなあ。
- 楽しみだね。また劇遊びしたいな。



#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に様々な絵本や図鑑を読み聞かせてもらった経験を生かして、教材の提示方法を工夫する。今回は単元の目標と教材の特徴、単元の主たる活動が合致するように、クイズのようにしながら、読み聞かせをしている。

★それでは、新しく学習する「くちばし」を読んでみるね。  
(例示は、問いと答えの文と簡単な説明が載り、問いと答えの応答関係を学ぶのに適した教材である。それぞれのくちばしだけの挿絵を黒板に掲示して、クイズのように読み始める。答えの文を読むとき、挿絵に対応させて写真も貼っていく。)

- あれ、何だかおかしいなあ。
- 今までは絵だったけれど、鳥の写真が載っている。



### 深める

これまで学習した文章との違いを考え、特徴を捉える。

★あれ、みなさん何だか「あれっ」て顔をしている人が多いね。どうしたのですか。

- だって、今までの物語と違うよ。
- そうそう。全然違う。

★え、そう？ でも、前の物語でも森の動物たちが登場しましたよね。今回の鳥たちも一緒じゃないの。

- 全然違うよ。前の物語の動物たちはお話の世界だから。
- お話っぽくないんだよ。これは、本当にあったことだから。
- 見てごらん、絵じゃなくて、写真でしょ。今までは絵だったのに。だから本当の世界のことなんだよ。
- 観察って感じなんだよな。観察ってよく見て説明することなんだけど。
- きっとこれは図鑑なんだよ。図鑑も写真があるし、説明もあるでしょ。
- クイズ図鑑とかクイズの本にも似ていると思う。

★そうか。今まで学習してきた物語とは違うんですね。実は、みんなが気付いたように、今回の「くちばし」のように何かを説明した文章を説明文と言います。

- そうなんだ。だから今までの物語と違うぞって思ったんだ。
- じゃあ、劇遊びじゃなくて、違うことがしてみたいね。

★確かに、物語ではないから、また違った面白い学習ができそうですね。



何かへん！  
〇〇さんはどう思う？



#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に様々な絵本や図鑑を読んだり、読み聞かせてもらったりした経験を生かして、文種の違いを考えられるようにする。

## 取り組みたいことを考えよう！

### 広げる

この単元で取り組みたいことを考えたり、意見を出し合ったりして決める。

★それではみなさんは、どのようなことに取り組んでみたいですか。

- 見たことも聞いたこともない鳥が出てきて面白かったから、いろいろな鳥について調べたいな。
- みんなが図鑑って言ってたから、自分でも鳥のくちばし図鑑をつくらしてみたいな。できたら誰かに見てもらいたい！
- クイズっぽくて、考えるのが面白かったから、真似して他のクイズもつくらしてみたい！ 学校クイズとかも面白そうだよ。
- クイズだと、これまでも自分で考えたことがあるからできそうだね。
- 教科書に載っている鳥以外のクイズもつくらしてみたいな。
- クイズを集めたら図鑑風になっていいかもね。

★では、次から意見の多かったクイズづくりをしていきますか。

- やってみよう！ ●楽しみだね。たくさんつくるぞ！
- 最初は教科書を見ながら真似していくといいと思う。

★これからの学習もとっても楽しみですね。では次は、教科書を見て〇〇のクイズをつくらっていきますよ。



#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学び方を生かして、子供たちの「やってみよう！」という思いや願いを可能な限り、学習に生かしていくようにする。

どれも楽しそうで迷っちゃう！